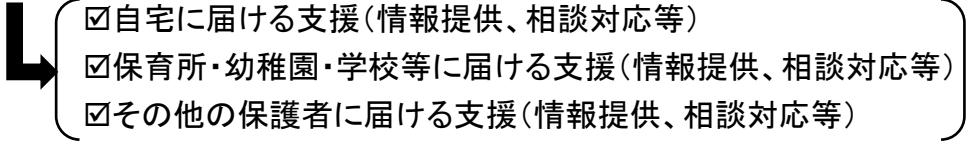


【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	知立市家庭教育支援チーム (呼称:防災ママかきつばた) URL: https://ameblo.jp/bosaimama/
②活動拠点	知立市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター
③活動範囲	知立市地域を中心に、愛知県全域、オンラインを活用し全国に発信・活動
④組織体制	48人 子育てネットワーカー・防災士・防災介助士・防災備蓄収納1級プランナー・管理栄養士・整理収納アドバイザーなど在籍
⑤活動開始年度	2016 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 代表・事務局 高木香津恵 (TEL)090-3996-1868 (E-mail) chi_co_lab@yahoo.co.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援)  <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容

【具体的な活動内容】

私たちの活動は、子育てママの視点を最大限に活かし、防災知識の「学習機会の提供」と、親子が安心できる「居場所づくり」を目的としています。活動は「情報発信」「講師活動」「主催企画」「啓発品開発」「協働・学習」の5つの柱で展開しています。

(1)保護者への学びの場の提供(講師活動・情報発信)

家庭教育支援の土台となる「防災の知識」を、子育てママに特化して提供しています。

■専門家による学習機会の提供:防災士15名、看護師2名、管理栄養士2名、気象予報士2名、建築士2名、防災備蓄収納1級プランナーなどの複数の専門資格を持つメンバー(ママ)が在籍しています。これらの専門性を活かし、対象者(乳幼児向け、小学生向け、PTA向け、支援者向けなど)に合わせて内容をカスタムしたオーダーメイド講座を、多い時で毎月10回以上開催しています。



■インクルーシブな防災教育:乳幼児向けの防災はもちろん、食物アレルギー、発達障がい、外国人、妊婦など、特別なニーズがある方への啓発にも設立当初から力を入れています。災害時における避難所での食物アレルギーへの配慮や、発達障がいのある子どもへの声かけの具体例などを発信し、誰ひとり取り残さない防災を目指しています。

■多岐にわたるテーマ:地域で起きる災害、過去の失敗談、携帯トイレの使い方、防災クッキング、親子防災絵本の読み聞かせなど、実践的かつ生活に密着した内容を提供しています。



■オンライン・デジタル発信: 対面だけでなく、オンラインやライブ配信(コロナ禍から5年以上継続)を活用し、忙しい子育てママが時間や場所を選ばず学習できる環境を提供しています。SNS(アメブロ、Facebook、X、Instagram、COOKPAD、YouTubeなど)を各媒体に合わせて活用し、防災情報日々発信しています。



(2) 地域の居場所づくり・交流の場の提供(主催企画・協働)

子育てママが孤立せず、地域や仲間との繋がりを持つ居場所と交流の場を提供しています。

■参加しやすい環境づくり:「防災ママカフェ®」(200名以上参加実績あり)などを開催する際は、託児グループ、防災ボランティア、専門家、地元企業と連携し、子連れママが参加しやすい環境を提供してきました。



■親子参加型の啓発活動: 子どもが楽しみながら学べる体験活動として、携帯トイレの凝固剤を使用した「キラキラ保冷剤づくり」や、防災食をアートとして活用する「おえかきパン缶づくり」を開催しています。



■地域との共助促進：代表が防災会議委員・小学校の学校運営協議会の防災担当のほか、メンバー一人一人も地域防災に取り組んでいます。キャリーワゴンを利用し、小さな子どもを連れて地域の防犯見回りやゴミ拾いへ参加することを推奨しています。これにより、地域貢献と同時に、赤ちゃんと幼児という災害時要援護者が地域にいることを知ってもらうきっかけ作りをしています。



(3) 身近な地域での相談・情報提供(啓発品開発・協働)

防災のきっかけとなるツールを開発し、情報が届きにくい層や家庭への支援を行っています。

■啓発品の開発と普及：乳幼児親子向けの地震防災絵本「ちきゅうくんのくしゃみ」を制作・改訂しました。また、地域独自の内容にカスタマイズ可能な「暮らしに備える防災通信 KURASONA」のWord版を無料公開し、他の地域での防災啓発活動の再現性を高めています。



■個人情報管理の支援：「子どものためのマイ防災ページ(カード)」をWord形式で公開し、災害時に保護者がそばにいなくても子どもが大切な情報を紙ベースで携帯できるよう推奨しています。

	<p>■経済的負担の軽減:薬局などのポイントを利用して防災食や防災グッズと交換する、家計に負担をかけない備えを推奨しています。</p> <p>■行政との連携:知立市や刈谷市のハザードマップ改定に携わり、市民から初めて知立市防災会議委員に選出されるなど、行政と「お互いに助け合い、思いやりの関係構築」に努めています。</p>
	<p>活動開始から9年間で、継続的かつ広範な啓発実績を積み重ねています。</p> <p>●総活動回数:2016年3月～2025年までの9年間で、講師活動・主催企画・学習参加などの活動回数は2,200回以上にのぼります。</p> <p>●直接啓発者数:対面・オンラインの講座、講演、イベント出展などを通じた直接啓発者数は、9年間で25,000人以上に達しています。</p> 
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>●SNSリーチ:SNS総フォロワー数は合計約20,000人(2025年10月時点)であり、ブログは月間30,000PV以上(2025年9月時点)、リーチ数累計は25万以上を記録するなど、情報発信で大きな成果を出しています。</p>  <p>https://lit.link/bosaiik</p>

●行政への参画:市民から初めて知立市防災会議委員に選出され、知立市や刈谷市のハザードマップ改定に携わるなど、地域防災計画策定に深く貢献しています。

●福祉分野での評価:2025 年に知立福祉大会で感謝状、および愛知県社会福祉大会で感謝状を受賞しました。



●メディア掲載実績:全国放送(NHK「おはよう日本」、日本テレビ「スッキリ」など)を含むメディア掲載は 550 回以上にのぼり、広く社会に防災の重要性を発信しています。



●全国的な学びの提供:2018 年の名古屋開催から毎年「ぼうさいこくたい」に出展しており、全国の防災関係者との継続的な繋がりと学びの機会をもっています。



●展示実績: 2023年には兵庫県神戸市の「人と防災未来センター」にて、若手の防災活動家として活動が展示されました。

(3) 団体の持続性と専門性の向上

活動を継続するための内部体制の強化と、次の世代への知識継承を実現しています。

- 知識基盤の強化: 団体としてメンバーの防災士資格や関連資格取得(講座・交通費費用)を支援し、ママたちの知識向上に努めています。
- 後継者育成の示唆: 目的達成を最重要視し、「継続できる形」に活動し、防災の大切さを伝える講師育成を行っています。
- 世代間の影響: チーム内の家族が知立市最年少防災士・防災介助士になるなど家庭内で防災の知識と実践が継承される成果が見られています。



⑤活動財源 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)
	<input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)
	<input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)
	<input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施
	<input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (助成金・補助金など)